

第2次 糸井地域まちづくり計画

思いやりの心でつなぐ人の輪

～心も体もいきいきと、自然と共に誰もが輝ける糸井～



第2次 糸井地域まちづくり計画 策定にあたって

糸井地域は、朝来市第1次総合計画「自考・自行・共助・共創」のまちづくりを基本理念に示された「地域協働・地域自治システム」に基づき、平成20年(2008年)2月24日、糸井地域自治協議会が設立され、14年の歴史を刻んでおります。

平成23年3月「糸井地域まちづくり計画」が策定され、10年の歳月が経過し急速な社会情勢変化に沿う、地域まちづくり計画見直しの対応が求められてきました。

糸井地域自治協議会では、2030年代、次の10年を見据えた、第2次糸井地域まちづくり計画策定にあたって、令和2年度から代表委員・市職員・専門アドバイザー共々に、協議を行い、選任20数名による「糸井地域まちづくり計画検討委員会」を立ち上げ、糸井地域の実情、特性を生かした住みよい、住んでいて楽しい、自慢できる活性化みなぎる郷土の将来像の指針骨子案、構成作成の討議、協議を15回以上にわたり審議し、編集、推敲を重ねてまいりました。

その中で、令和3年(2021年)1月から2月にかけて、糸井小学校4年生以上の住民を対象に、アンケートをお願いし、85.3%に及ぶ回収率を得、回答内容の分析において、共通の意見として、「住みよい地域」、「安心して暮らせる」、「今後も住みたい」、「環境も素晴らしい」等々と、糸井地域の良いところの見解も沢山頂きました。

また、要望・希望として、「誰も置き去りにしない」、「少子高齢化」、「休耕地対策は」、「空き家対策は」、「交通の便利さは」、「婚活は」、「子どもの教育環境は」、「楽しいイベントは」、等々と、重要課題の投稿もありました。

さらに、今後の糸井地域の形成に対しての課題も、「人口激減の対策は」、「豊かな自然の保護は」、「減災防災と共助は」、「福祉の対策は」、「元気な高齢者になるには」、「助け合える地域にするには」、「観光スポット・特産品の開発と情報の発信は」と、多彩な意見が出ました。

この様な、意見を糸井地域まちづくり計画の骨格として構築するため、幅広い年代層からの情報を分析し、さらに、昨年(2021年)11月3日糸井小学校に於いて「アンケート結果/報告会&糸井のこれからを話しあう会」のイベントでの対話の集約に努め、各界からのご助言、ご指導を頂きながら念願だった「糸井地域まちづくり計画」の策定が、完成する運びとなりました。

このまちづくり計画に基づき、糸井地域自治協議会の運営と活動を皆様のご協力を得ながら、推進してまいりますので、今後共よろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、この「糸井地域まちづくり計画」の作成に、ご尽力を頂いた、兵庫県但馬県民局地域づくり課、朝来市市民協働課、地域担当職員、丹波ひとまち支援機構 戸田幸典氏始め、糸井地域まちづくり計画検討委員会、また、ご協力をお願いした多くの方々に対し、深く感謝とお礼を申し上げますと共に、糸井地区皆様のご健康、ご多幸、ご長寿を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とします。

令和4年(2022年)3月
糸井地域自治協議会 会長

長野 久司

はじめに	糸井地域まちづくり計画について	1
	1 地域まちづくり計画とは	
	2 地域まちづくり計画でわかること	
	3 目標年次と取り組み	
第1章	糸井地域の現状と課題	2
	1 糸井地域の概要	
	2 糸井地域の紹介と地域資源	3
	3 糸井地域自治協議会のこれまでの活動	5
	4 糸井地域の人口構成と推移	9
	5 糸井地域まちづくり住民アンケート集計結果	11
	6 住民アンケート集計結果と糸井のこれからの話し合う会のまとめ	14
	7 住民アンケート集計結果と糸井のこれからの話し合う会から見えてきた課題	15
	8 まちづくり計画の主要課題	
第2章	糸井地域が目指す将来像	16
	1 糸井地域が目指す将来像	
	2 基本方針	
	3 糸井地域まちづくり計画ビジョン図（全体像）	17
	4 基本方針と基本方針に基づく今後の取り組み	19
第3章	まちづくりの推進に向けて	25
	1 糸井地域まちづくりの推進体制	
	2 計画の見直しについて	26



はじめに 糸井地域まちづくり計画について

1 地域まちづくり計画とは

糸井の将来の姿を描くとともに、住民が地域の課題を共有し、その解決に向けて住民が主体となって取り組むことをまとめたもので、糸井地域自治協議会におけるまちづくりの根幹となるものです。平成23年度に策定してから概ね10年が経過し、この間、社会情勢や地域の現状等が変化していることから見直しを行いました。

見直しにあたり、住民の皆様の意向を反映するため、小学校4年生以上の全住民を対象にアンケートを実施し、それをもとに対話をふまえ策定したものです。

2 地域まちづくり計画でわかること

この計画を見ることで、以下のようなことがわかります。

(1) 糸井地域の現状と課題

地域の現在の姿や今後の課題、それらに対し地域の方々がどう感じておられるのかがわかります。

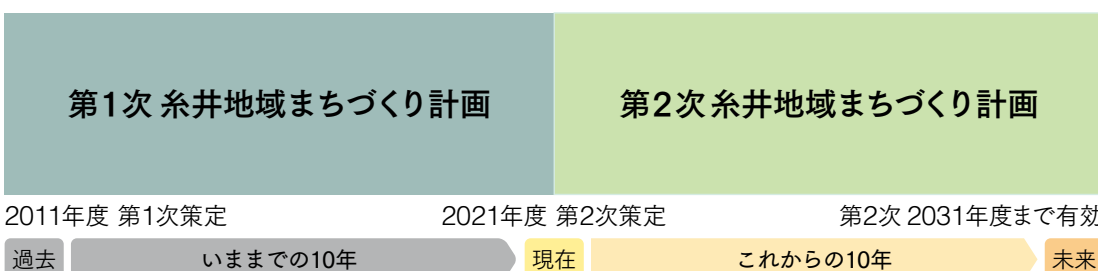
(2) 糸井地域が目指す将来像

私たちが目指す地域のありたい姿や、それらを実現するための基本方針やそれに基づく今後の取り組み内容がわかります。

(3) 将来像実現のための推進体制

将来像の実現に向け、だれがどんな体制で、どんなスケジュールで実行するかがわかります。

3 目標年次と取り組み



第1章 糸井地域の現状と課題

1 糸井地域の概要



(1) 位置

朝来市の北東部に位置する糸井地域は、標高843mの西床尾山、839mの東床尾山を含む糸井溪谷から流れ出る糸井川に沿った細長い谷に高原地を加え、中央部を県道が通り、養父市・豊岡市及び福知山市と接する東西約11km、南北約4kmで、面積約37.4km²の田園地帯であります。

(2) 地勢

出石糸井県立自然公園を源流とする糸井川流域にあり、農耕地や集落が点在しています。緑、水資源が豊かな地域であり、四季の変化を様々な楽しむことができます。

また、当地域は、以前から人々が住み続けてきた地域と、造成された住宅地とで構成され、それぞれの地域が抱える課題に差があります。

(3) 交通

地域内には、県道10号、県道274号及び円山川右岸道路の幹線道路や市道が走っています。交通手段は、多くの世帯が自家用車で、高齢により運転できない世帯はバスやタクシーなどの限られた公共交通機関を利用されています。バスは全但バスとアコバスが運行しています。

(4) 地域の構成

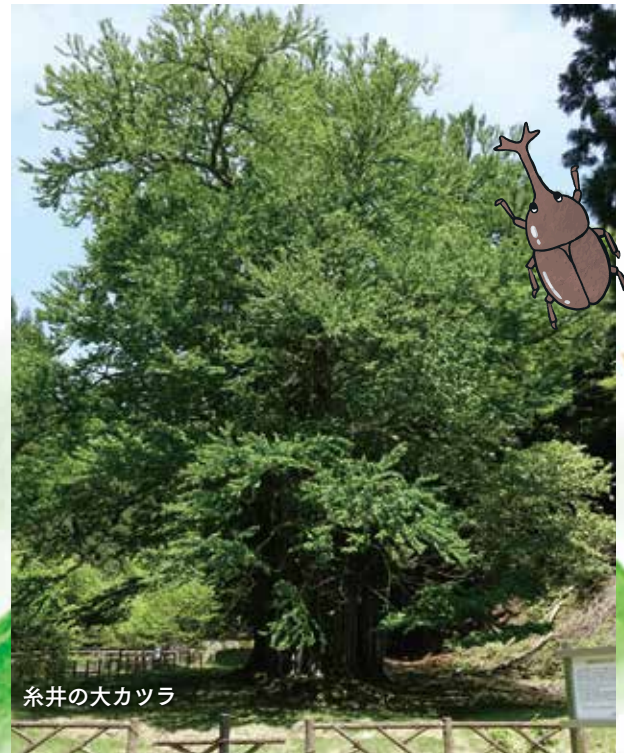
竹ノ内・内海・朝日・和田・市場・高生田・林垣・寺内・万葉台・室尾・秋葉台1区・秋葉台2区・秋葉台3区・秋葉台4区・緑ヶ丘の15の地区があります。

2 糸井地域の紹介と地域資源

① 糸井の大カツラ



糸井のシンボルであるカツラの雄株の巨木で、樹齢は約2000年(推定) 糸井溪谷最奥にあって、主幹は朽ちて、中央部には広い空間ができており、その周囲には大小約80本の「ひこばえ」が、中心部を見守る形で林立しています。枝張りは、東西30メートル南北31メートル、高さは36メートルに達し、5月には、青々とした葉が力強さをさらに際立たせ、地元の皆さんの手でしめ飾りも飾られ、神々しさまで感じさせてくれる樹です。昔、この地方の大日照りの際に名僧を招き、この木に法衣をかけて雨乞いを祈願したところから「衣木」とも呼ばれ、神木として奉られています。昭和26年6月、国指定天然記念物に指定されました。



糸井の大カツラ



寺内ざんざか踊り

② 寺内ざんざか踊り

約400年間踊りつがれている兵庫県の無形民俗文化財。寺内ざんざか踊りは、子孫の繁栄と五穀豊穰・天下泰平を祈念し、毎年7月の第3日曜日に寺内区の山王神社境内と光福寺境内で奉納される太鼓踊りです。



糸井チャレンジで糸井川生き物調査後の川遊び



糸井チャレンジでのオオサンショウウオの生態調査

③ 糸井川

東床尾山を源流に糸井地域を流れ下る清流糸井川。糸井川には、オオサンショウウオ(ハンザキ)を食物連鎖の頂点とした、数多くの生物が生息しています。その清らかな流れは、途中でおいしいお米や野菜の生育に欠かせない水や住民のための生活用水の源となり円山川に流れています。

4 東床尾山・西床尾山

糸井小学校の校歌にも歌われている床尾山。東床尾山と西床尾山が、翼を広げたような形で連なり、鉄鉦山とともに糸井三山として連峰を形成しています。東床尾山は360度の展望開け、晴れた日には但馬ドームや遠く天橋立まで眺望することができます。床尾山への登山ルートは、地元の有志によって案内標識や登山道の修復等整備され、初心者も登りやすい山として近年登山者が増えている人気の山です。晩秋の落ち葉を踏みしめながら登るのはまた格別です。



東床尾山山頂より天橋立を望む



東床尾山山頂より豊岡方面を望む



5 竹ノ内隕石落下之地

日本で初めて、落下日時・場所・状況がわかり、化学分析等の科学的調査がされた最初の隕石。落ちた場所の地名から「竹ノ内隕石」と名付けられ、落下時の重さは718.7gありました。現物は、国立科学博物館と産業技術総合研究所に分割保管され、和田山歴史資料館には複製品(レプリカ)が展示されています。



床尾の堰堤

6 糸井溪谷

糸井川の源流に位置する神秘的な溪谷。東床尾山・西床尾山・鉄鉦山の三山に囲まれた美しい溪谷で、整形した天然石で積み上げられた床尾(とて)の堰堤から最奥部の「糸井の大カツラ」までの神秘的な溪谷美を楽しめます。秋には、峰越林道から見る自然林の紅葉が見事です。

7 助右衛門桜

衣谷鉱山(金山)選鉱所近くの古い桜巨木。糸井の大カツラから近畿自然歩道を約500m登った左手沢の向こう斜面に、陣取るように自生しているエドヒガンザクラの巨木です。近くに衣谷鉱山(金山)選鉱所があり、名前の由来は、その地名の助右衛門谷からつけられたと言われています。テレビに出たこともある少し有名な桜です。開花時期は4月中旬頃です。



床尾の三滝(一の滝)



床尾の三滝(二の滝)



床尾の三滝(三の滝)

8 床尾(とて)の三滝

糸井溪谷入口にある趣のある滝。森林総合利用管理施設南の谷筋の遊歩道を5分くらい進んだところに「一の滝」があり、落差5mで2列になって落ちています。「二の滝」は、一の滝のすぐ近くにあり、落差10mで黒い岩肌を勢いよく流れ落ちていきます。二の滝からさらに進むと「三の滝」が現われてきます。三の滝は、大きな岩の間を総落差15m以上を三段になって落ちています。最上段は水しぶきを上げて落ちており、滝壺周辺の岩には苔が張りめぐり神秘的です。

3 糸井地域自治協議会のこれまでの活動

2008年度(平成20年度)～2021年度(令和3年度)

将来像実現のため基本方針に沿った「15のプロジェクト」に取り組みました

基本方針 1 自然と笑顔輝くまちづくり

基本方針 2 住んでよかった!安心・安全なまちづくり

基本方針 3 住んでみたい観光・定住のまちづくり

安全・安心・福祉部会

地域開発部

交流部会

広報委員会

みんなで目指す地域の将来像

糸井川を中心とする自然とみんなの笑顔が輝く
『住んでよかった!』『住んでみたい!』まち糸井

活動成果 部会での取り組みから、地域がよくなってきたと感じること

- 各区から寄ってイベント実施や話し合いができふれあい・関わりが深まった
- 部会に参加することで人の輪が広がった
- イベントも地道な活動も必要
- お宝マップ作成により様々な場所を知る良いきっかけとなった
- 事業を続けることにより少しずつではあるが活動が浸透してきた
- 子どもたちが活動に参加することによって自治協の認知度が上がってきた
- 糸井地区文化祭・床尾のつどい・糸井川生き物観察会を続けてきたことで多世代交流の場ができた

基本方針 1 自然と笑顔輝くまちづくり

15のプロジェクト	委員会・部会	具体事業	結果
1-① ホテルが飛び交う きれいな川にしよう	交流部会	地域全体の糸井川環境美化活動	全体としてはできていないが一部の区に於いて草刈り等実施
		糸井川周辺の周遊歩道、憩いの場の整備	費用確保が困難
		糸井川でイベント企画・実施	地域開発部会に於いて観察会実施
1-② 未利用農地の活性化に 取り組もう	地域開発部会	世話役の確保	世話役の確保はむずかしい
		未利用農地の状況調査	調査についても各区に於いても農事担当者等との調整が必要
		園芸・野菜づくりの希望者の募集、実践	募集方法に課題
1-③ 歴史・文化・行事の再発見	地域開発部会	活動スケジュールの立案 定期的な勉強会の開催、年1回の発表会の開催	学習会・見知り隊は継続できず
1-④ 行事・共同活動としての 地域間交流を図る	交流部会	糸井全体の盆踊りの企画・実施	期初の会議に於いて話は出るが具体化せず
1-⑤ まちづくりの参加者を 増やそう	広報委員会	まちづくり活動の人材の募集・確保	広報誌により募集



糸井地区文化祭



オオサンショウウオ（ハンザキ）発見



水辺の生き物観察会（川遊び）

基本方針 2 住んでよかった!安心・安全なまちづくり

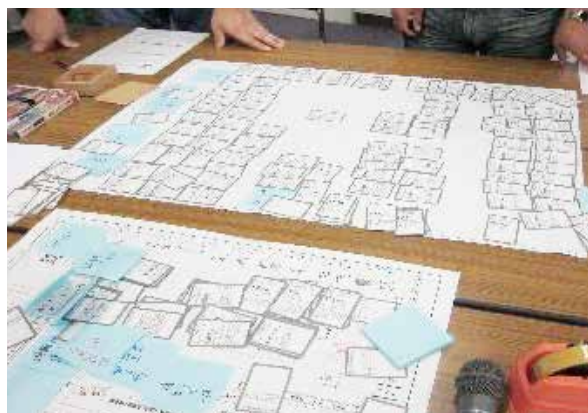
15のプロジェクト	委員会・部会	具体事業	結果
2-① 一人暮らしの 高齢者世帯の見守り隊	安全・安心・福 社部会	配布物を配る際の声かけ、安否確認 (月1回)	最初数回行ったが続かなかった 民生委員の活動へ
2-② 高齢者の暮らしお助け隊	安全・安心・福 社部会	高齢者の御用聞きサービス	部会としては出来ていないが、民生委員や各 区ミニディ単位では活動あり
2-③ 高齢者のお出かけお助け隊	安全・安心・福 社部会	デマンドバスの運行	デマンドバス・白タク等行政の支援なしでは 難しい
2-④ 子どもと高齢者のふれあい	交流部会	子ども会と老人クラブの合同イベント の企画・実施	収穫祭をここにあてはめて実施したがイベント 続きとなり休止(評判は良かった) 子ども会は、活動休止(組織のみ) 各区に於いて老人クラブはほぼ活動休止、 残ったところが主体となりささやかに活動中
		遊具の充実	1か所実施
2-⑤ 防災による元気な糸井づくり	安全・安心・福 社部会	各区単位による防災訓練(年1回)	防災訓練については行政主導で年1回実施 部会に於いては、対応力向上・実践の学び等 を考え防災教室実施
計画以外の取組	安全・安心・福 社部会	すべての地域住民が健康で安心して暮 らせるために健康教室・栄養教室実施	1か所実施



床尾のつどい (旧高齢者のつどい)



ウォーキング大会



防災教室

基本方針 3 住んでみたい観光・定住のまちづくり

15のプロジェクト	委員会・部会	具体事業	結果
3-① 観光関連 イベントの開催	交流部会 地域開発部会	植樹の企画・実施（年1回） 床尾登山の企画・実施（年1回） 紅葉狩りの企画・実施（年1回） 糸井の秘境探検	植樹に於いては、各区にお願いしソメイヨシノ植樹 登山は、部会に於いておとしより実施。他方糸井 チャレンジではH28年より実施 紅葉狩り実施できていない 秘境探検は、H29年に糸井チャレンジに於いて実施
3-② 空き家活用事業	交流部会 地域開発部会	空き家バンクの創設 （空き家の実態調査） （所有者の意向調査） （空き家の改修・貸出等）	行政により実施
3-③ 雇用と産業(農業)の 活性化	地域開発部会	ヤーコンの栽培、ヤーコン茶など の商品開発、キムチづくり	ヤーコン栽培・ヤーコン茶製造のみ種々と継続 生物については、賞味期限等により商品化困難
3-④ 婚活イベント	交流部会	田植えなどの田舎暮らしの体験を 通じて婚活	一度収穫祭で行ってみたが盛り上がりがない。人集めも 大変
3-⑤ 観光情報の発信	広報委員会 地域開発部会	糸井のお宝マップづくり	様々な場所を知る良いきっかけとなった



糸井のお宝マップ



床尾山登山



糸井の秘境探検

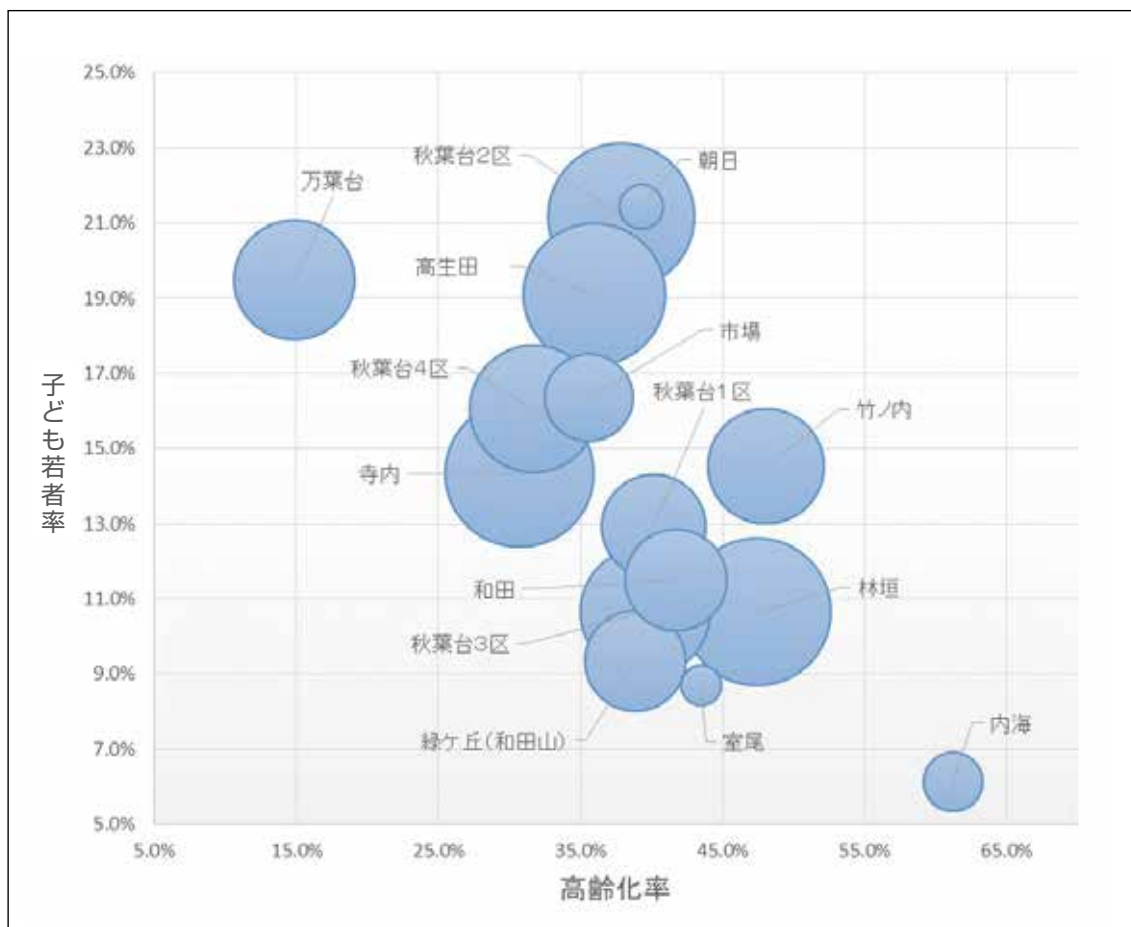
4 糸井地域の人口構成と推移

(1) 現時点における人口

2021年9月30日時点における糸井地域全体の人口は、2,585人、世帯数1,036世帯、高齢化率(65歳以上の比率)37.33%(住民基本台帳より)であり、高齢化率が高くなっています。

さらに行政区別に人口を抽出し、横軸を高齢化率(65歳以上の比率)、縦軸を子ども若者率(20歳未満の比率)としたバブルチャートを作成すると、図1のようになります。

図1 各行政区における人口規模と高齢者および子ども若者率



糸井地域全体でみると、人口規模として23人～293人の幅があり、子ども若者率は6.1%～21.4%の幅があり、高齢化率は14.9%～61.2%の幅があります。

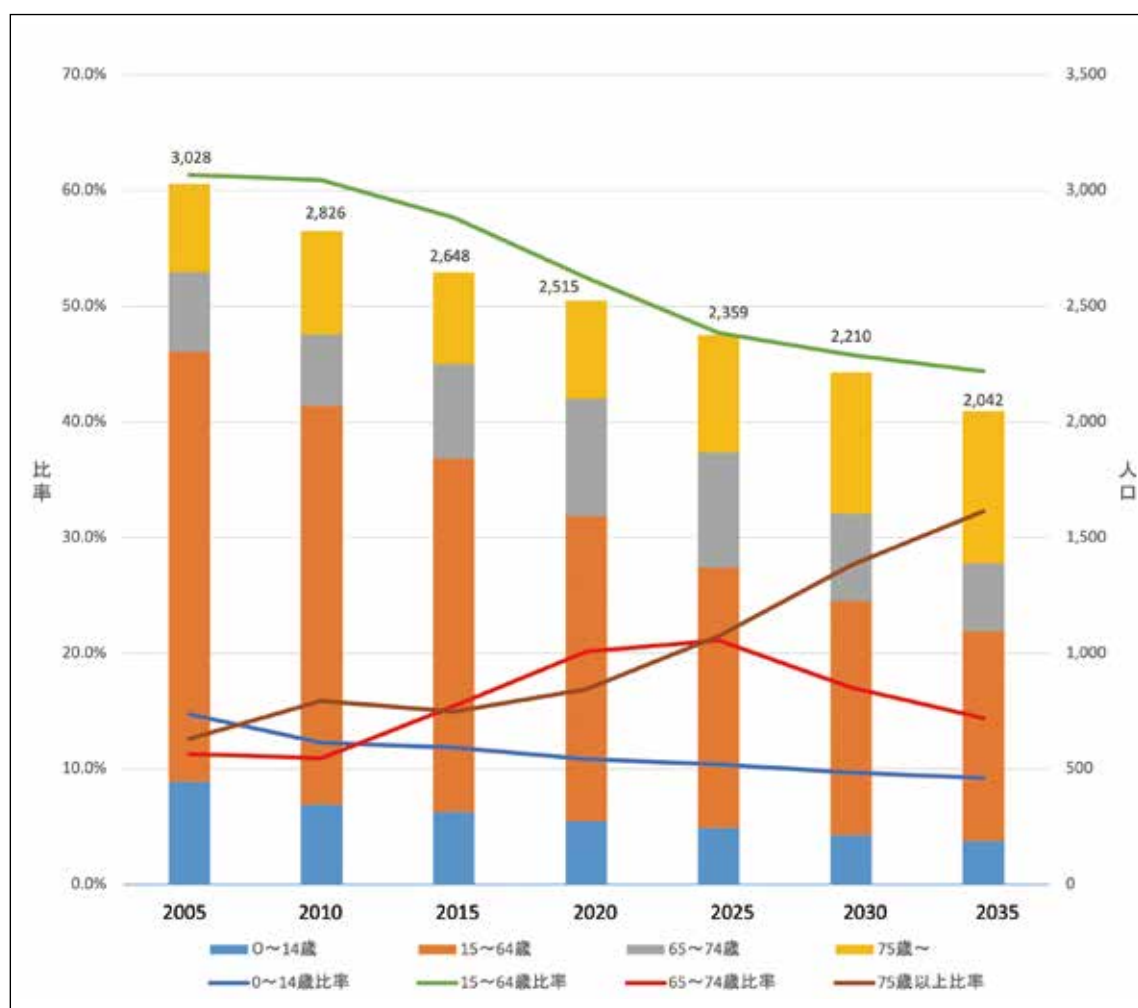
このように糸井地域とひとくくりにしても行政区によって人口構成に差があることが分かります。

(2) 推測される今後の人口

次に、国勢調査に基づいた糸井地域全体における人口・高齢化率推移実績(2005年～2015年)および人口・高齢化率推移予測(2020年～2035年)について示します。

横軸に該当する年、縦軸に年代別に積み上げた人口の棒グラフと、高齢化率を示した折れ線グラフを合わせると、図2のようになります。

図2 糸井地域内の人口および高齢者の推移



このグラフからわかることは、糸井地域においては2035年に高齢化率が約46% (2人に1人が高齢者) となり、2005年に比べて人口が約68%に減少することです。

5 糸井地域まちづくり住民アンケート集計結果

(1) アンケートの実施内容及び集計結果

① 対象者

糸井地域在住の中学生以上の個人のうち配布できた2,148人

糸井小学校4年生30人、5年生14人、6年生17人

② 実施期間

2021年1月～2月（回答者数：1,833人 / 回収率85.3%）

③ 調査内容

属性調査、暮らしに関する意識調査、糸井地域自治協議会に関する意識調査及び地域活動に関する意識調査

※アンケート集計結果の詳細は自治協議会事務局にて開示可能（問い合わせ先：裏表紙参照）

表1 糸井地域の暮らしで特に不便や不安を感じる、困っていること(年代別)

選択項目	総計		10歳代		20歳代		30歳代		40歳代	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
買い物・通院・通学などの移手段	892	48.7%	80	66.7%	39	43.3%	68	42.8%	89	41.4%
近くに医療機関がなく自分や家族の健康が不安	529	28.9%	15	12.5%	20	22.2%	35	22.0%	62	28.8%
近くに就職できる仕事場が少ない	451	24.6%	26	21.7%	35	38.9%	44	27.7%	63	29.3%
子どもの安全な遊び場、居場所が少ない	225	12.3%	30	25.0%	12	13.3%	37	23.3%	40	18.6%
子育て環境、子どもの保育、緊急時の預け先が不安	67	3.7%	4	3.3%	7	7.8%	18	11.3%	9	4.2%
近くに気軽に相談できる親戚や友人がなく不安	173	9.4%	5	4.2%	5	5.6%	13	8.2%	11	5.1%
住んでいる場所が災害等による危険性がある	359	19.6%	17	14.2%	11	12.2%	35	22.0%	45	20.9%
高齢で一人暮らしの生活が不安	220	12.0%	4	3.3%	4	4.4%	9	5.7%	15	7.0%
仲間と気軽に集う場所がなく交流が希薄になり不安	254	13.9%	12	10.0%	12	13.3%	23	14.5%	22	10.2%
先祖から受け継いだ土地などの維持管理が不安	390	21.3%	4	3.3%	5	5.6%	26	16.4%	37	17.2%
地域の行事等への参加・地域との関わりが大変	436	23.8%	4	3.3%	11	12.2%	39	24.5%	67	31.2%
その他	75	4.1%	7	5.8%	4	4.4%	8	5.0%	9	4.2%
無回答	278	15.2%	13	10.8%	14	15.6%	21	13.2%	25	11.6%
合計	1,833	100.0%	120	100.0%	90	100.0%	159	100.0%	215	100.0%

選択項目	50歳代		60歳代		70歳代		80歳代以上		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
買い物・通院・通学などの移手段	133	54.1%	206	46.8%	156	49.1%	119	53.6%	2	8.7%
近くに医療機関がなく自分や家族の健康が不安	90	36.6%	137	31.1%	89	28.0%	81	36.5%	0	0.0%
近くに就職できる仕事場が少ない	80	32.5%	134	30.5%	57	17.9%	11	5.0%	1	4.3%
子どもの安全な遊び場、居場所が少ない	34	13.8%	39	8.9%	24	7.5%	8	3.6%	1	4.3%
子育て環境、子どもの保育、緊急時の預け先が不安	7	2.8%	13	3.0%	4	1.3%	4	1.8%	1	4.3%
近くに気軽に相談できる親戚や友人がなく不安	22	8.9%	45	10.2%	49	15.4%	23	10.4%	0	0.0%
住んでいる場所が災害等による危険性がある	66	26.8%	83	18.9%	49	15.4%	50	22.5%	3	13.0%
高齢で一人暮らしの生活が不安	23	9.3%	50	11.4%	60	18.9%	54	24.3%	1	4.3%
仲間と気軽に集う場所がなく交流が希薄になり不安	35	14.2%	63	14.3%	51	16.0%	35	15.8%	1	4.3%
先祖から受け継いだ土地などの維持管理が不安	61	24.8%	101	23.0%	94	29.6%	58	26.1%	4	17.4%
地域の行事等への参加・地域との関わりが大変	83	33.7%	113	25.7%	65	20.4%	49	22.1%	5	21.7%
その他	10	4.1%	19	4.3%	12	3.8%	6	2.7%	0	0.0%
無回答	23	9.3%	70	15.9%	56	17.6%	42	18.9%	14	60.9%
合計	246	100.0%	440	100.0%	318	100.0%	222	100.0%	23	100.0%

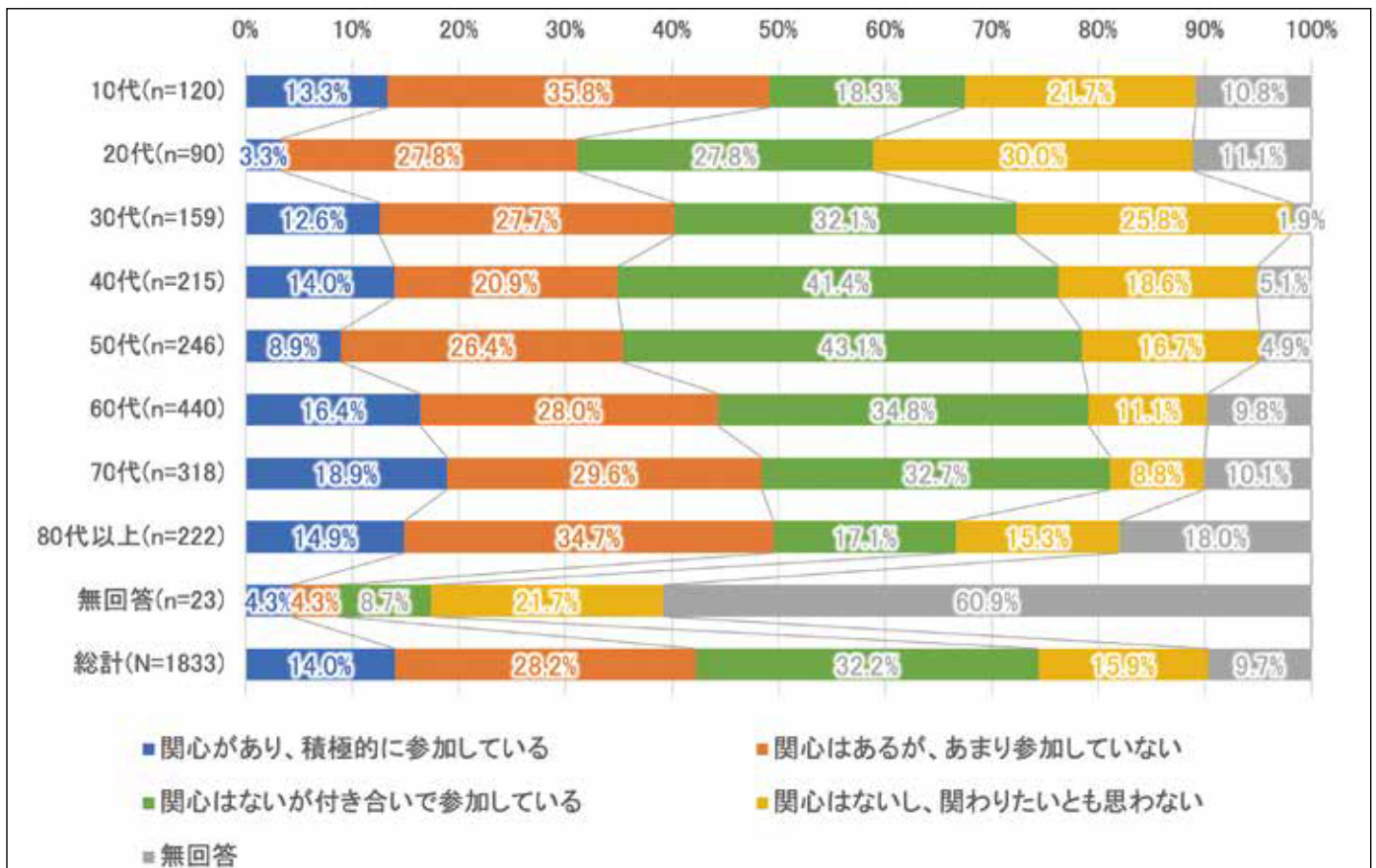
糸井地域の「暮らしにくさ」では、「買い物・通院・通学などの移手段」を選ぶ回答者が最も多く、半数程度となっています。

表2 地域活動への関心(性別)

選択項目	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
関心があり、積極的に参加している	257	14.0%	146	16.6%	108	11.6%	3	10.7%
関心はあるが、あまり参加していない	517	28.2%	235	26.8%	278	30.0%	4	14.3%
関心はないが付き合いで参加している	590	32.2%	284	32.4%	303	32.7%	3	10.7%
関心はないし、関わりたいとも思わない	291	15.9%	147	16.8%	141	15.2%	3	10.7%
無回答	178	9.7%	65	7.4%	98	10.6%	15	53.6%
合計	1,833	100.0%	877	100.0%	928	100.0%	28	100.0%

地域活動への関心について回答者の性別で見ると、男性の方が「関心があり、積極的に活動している」割合が高くなっています。また、女性の方が「関心はあるがあまり参加していない」割合が高くなっています。

図3 地域活動への関心(年代別)



回答者の年代別で見ると、20代で「関心があり、積極的に参加している(3.3%)」割合が特に低く、「関心はないし、関わりたいとも思わない(30%)」割合も高くなっています。

10代を除き、年代が若いほど関心がない割合が高くなっています。

表3 小学生アンケート「糸井地域は好きか」

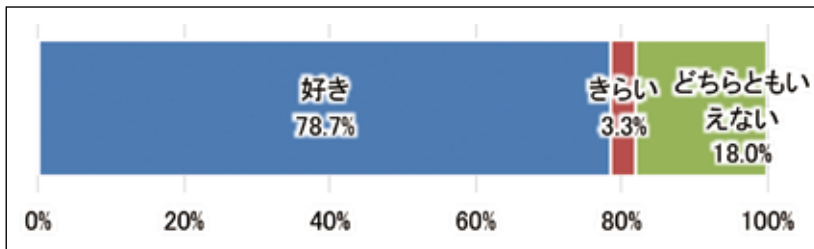


表4 小学生アンケート「糸井地域は住みやすいか」

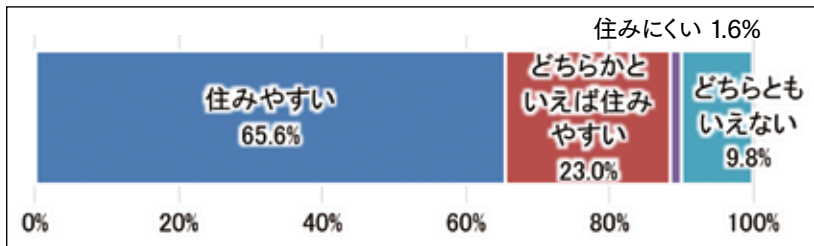


表5 小学生アンケート「大人になっても糸井に住みたいか」

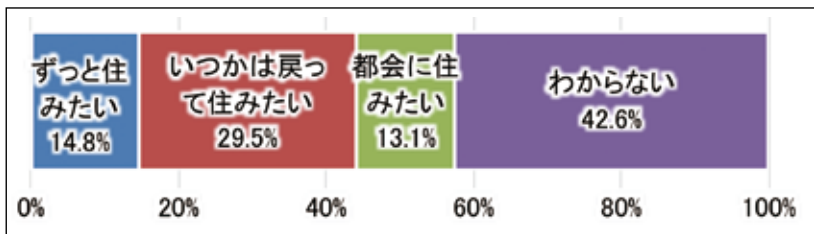


表6 小学生アンケート「糸井地域の好きなところ(複数選択)」

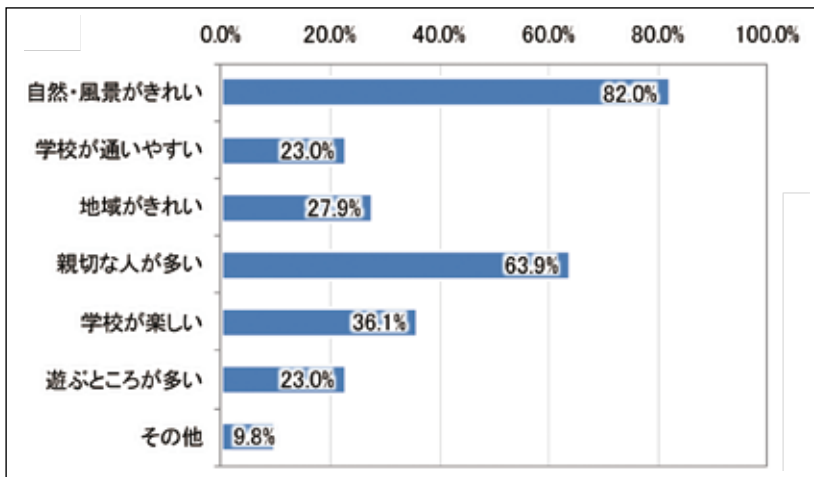
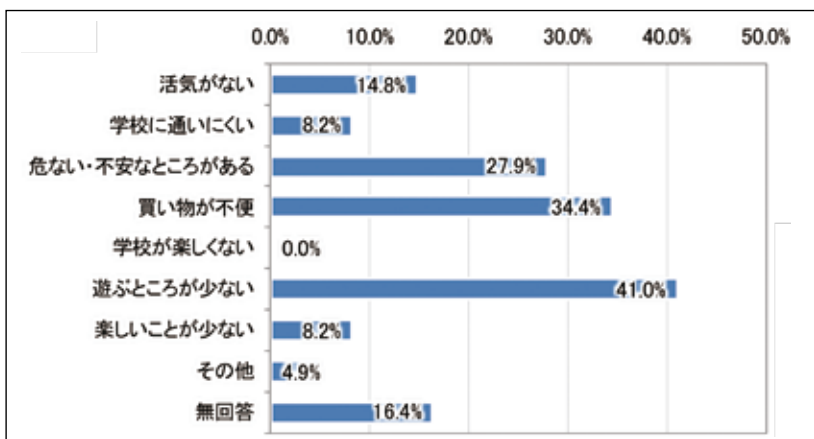


表7 小学生アンケート「糸井地域のきれいなところ(複数選択)」



糸井のよいところでは、「自然・風景」、「伝統・文化・行事」、「親切・人がやさしい」に関するものが多く挙げられています。自然については「みんなで守っていること」や「遊ぶこと」など、自然との関りについても挙げられています。

子どもたちは、一度は都会に出ていくと思います。しかし、いつかは戻って住みたいと思える地域づくりをすることが今の大人たちにとっては必要です。

【糸井小学校アンケート調査実施概要】

- 2021年1月18日～1月31日 配布～回収
- 糸井小学校 合計 61人
4年生 30人 / 5年生 14人 / 6年生 17人
- 男子 34人 / 女子 27人
- 回答者数 61人 (回収率100%)

6 住民アンケート集計結果と糸井のこれからを話し合う会のまとめ

2021年11月3日に開催した「糸井地域小学生・住民アンケート集計結果報告会 & 糸井のこれからを話し合う会」の中で、参加者から出された「糸井地域の良いところ・悪いところ」、「糸井地域の将来に望む姿・望まない姿」を下に示します。

<h3>現状 / 良いところ</h3> <ul style="list-style-type: none">自然が豊か人間関係・人が良い子育てがしやすい子どもを大切にしている景観が美しい糸井をよくしようとする地域の活動近所付き合いを大切にしている地域の伝統文化の保全につとめている地域の決まりごとを守っている	<h3>将来 / こうなってほしい</h3> <ul style="list-style-type: none">若い世代が増えている若者・子どもたちが主役田畑・里山が守られ豊かな自然が残っている生活の利便性が高く移動手段が確保されている人が集まる・集う機会・場所がある高齢化への対応ができ、元気な高齢者・老後の生活助け合う地域である観光スポットや特産品がある
<h3>現状 / 悪いところ</h3> <ul style="list-style-type: none">山が荒れている耕作放棄地が増加空き家の増加・管理不足環境の保全・維持の大変さ区の活動の継続の難しさ・義務への不満交通・移動が不便少子化に子育て・教育への影響買い物・お店	<h3>将来 / こうなったら困る</h3> <ul style="list-style-type: none">農業の担い手が減少、耕作放棄地増加人口減少・少子化の進展 / 過疎化超高齢化による困りごとの増加移動に困る人が増える地域行事の固定化自治会・区の存続ができないと困る



7 住民アンケート集計結果と

糸井のこれからを話し合う会から見えてきた課題

住民アンケートと糸井のこれからを話し合う会では、交通・移動が不便、耕作放棄地の増加、人口の減少による少子化・子育て・教育への影響など様々な課題・問題・悩みが提起されており、今後の取り組むべき課題が炙り出されています。

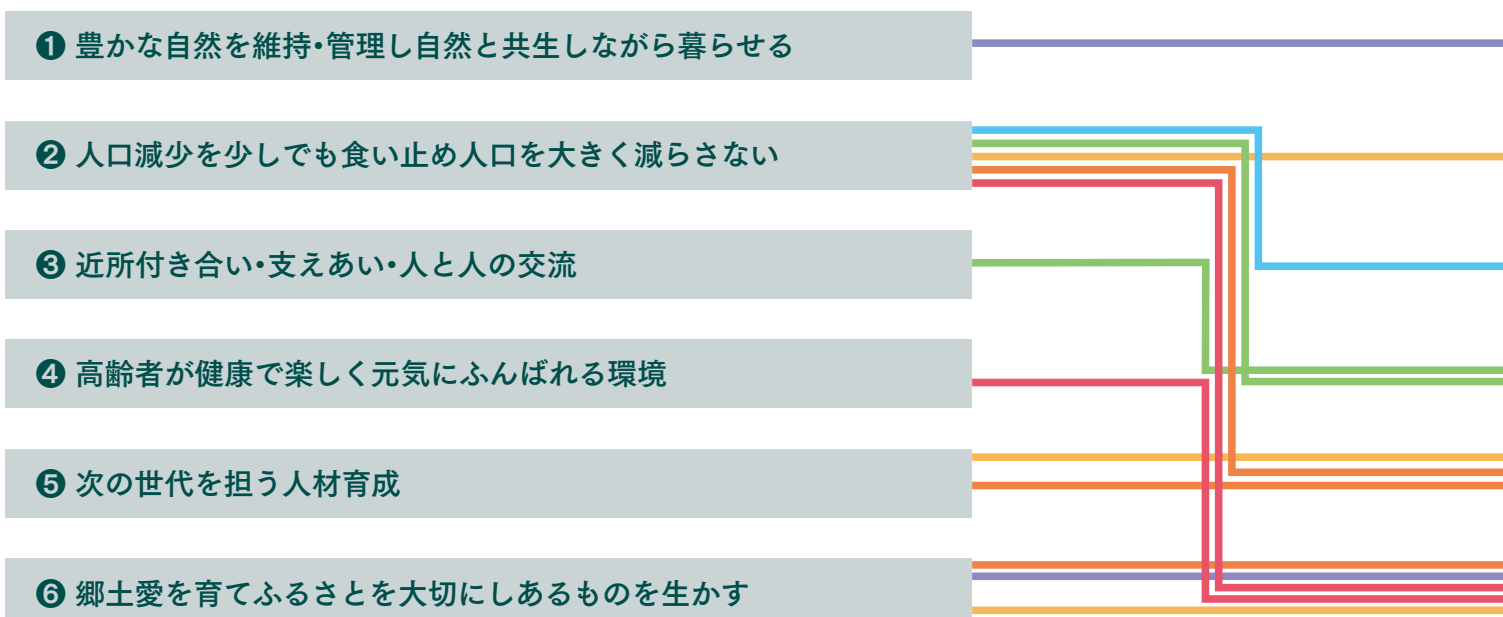
糸井地域自治協議会が取り組むことで一筋の光明が見えてきそうな問題と、行政機関が施策として掲げても根本的解決が困難な問題が散在しております。

これからも糸井地域に住み続ける住民にとって、また、他地域から移住される方々に明るく元気で過ごせるまちづくりが地域自治協議会の命題となっています。

8 まちづくり計画の主要課題

これらの「糸井地域の現状」、「地域住民の意向」、「地域活動の現状」、「糸井のこれからを話し合う会」から見えてきた意見をふまえて、第2次糸井地域まちづくり計画の主要課題を以下のとおり設定します。

主要課題と基本方針の相関関係



第2章 糸井地域が目指す将来像

1 糸井地域が目指す将来像

全国的に広がる少子高齢化は様々な形で私たちの生活に影響を及ぼしており、今後もより一層の深刻化が予想されます。糸井地域の自然豊かな生活環境や地域文化を守り、人と人とのつながりを大切にした暮らしを次の世代につないでいくためには、地域に住む私たちが互いに協力しながら、前向きにふんばることが大切です。思いやりと助け合いの輪の中で、子どもからお年寄りまで、誰もがいきいきと幸せに暮らすことができる地域であり続けられるよう、次の言葉をスローガンとして活動していきます。

思いやりの心でつなぐ人の輪

～心も体もいきいきと、自然と共に誰もが輝ける糸井～

2 基本方針

「心も体もいきいきと、自然と共に誰もが輝ける糸井」の実現に向けて、地域に暮らす私たち誰もが主体的に参加できるよう意識の向上を図りながら、次のとおり6つの基本方針を掲げ、まちづくりに取り組んでいきます。

① 美しい自然環境と共生するまちづくり

【主要課題 ① / ⑥】

② 若い世代、子どもも主役のまちづくり

【主要課題 ② / ⑤ / ⑥】

③ 生活の安全性と利便性が確保されているまちづくり

【主要課題 ②】

④ 人が集い、助け合い、優しさあふれるまちづくり

【主要課題 ② / ③】

⑤ ふるさと糸井の伝統文化、地域資源を生かすまちづくり

【主要課題 ② / ⑤ / ⑥】

⑥ 高齢者が楽しく元気にふんばれるまちづくり

【主要課題 ② / ④】

ありたい姿

思いやりの心で
～心も体もいきいきと、自然

基本方針

美しい自然環境と
共生するまちづくり

若い世代子どもも
主役のまちづくり

生活の安全性と利便性が
確保されているまちづくり

今後の取組内容

- ・花と緑の景観・環境づくり活動
- ・里山・山林をいかした活動
- ・糸井川をいかした活動
- ・糸井川の保全活動

19ページ

- ・若者や女性が参画しやすい
仕組みの整備
- ・若者のリーダー育成
- ・地元が好きになる
「ふるさと教育」の実施
- ・子育て環境の整備

20ページ

- ・災害への備えと支援体制の整備
- ・安心して利用できる
移動手段の確保
- ・安心して生活ができる支援

21ページ

まちづくりの推進体制

住民みんなで取り組む

(1) 安全・安心・福祉部会 (2) 地域開発部会 (3)

つなぐ人の輪

と共に関わることが輝ける糸井～

16ページ

人が集い助け合い優しさ あふれるまちづくり

- ・思いやる優しいまちづくり
- ・人が集まる行事やイベントの実施
- ・糸井全体での行事の充実

22ページ

ふるさと糸井の伝統文化 地域資源をいかすまちづくり

- ・郷土歴史研究活動
- ・伝統文化継承活動
- ・特産品の開発活動
- ・田畑・農地管理活動

23ページ

高齢者が楽しく元気に ふんばれるまちづくり

- ・声かけ・あいさつ運動の推進
- ・健康を意識した生活の推進
- ・仲間と楽しくふれあえる場づくり
- ・高齢者福祉の充実

24ページ

まちづくりの推進体制

(3) 交流部会 (4) 広報委員会 (5) 新たな委員会等

25ページ

4 基本方針と基本方針に基づく今後の取り組み

(1) 美しい自然環境と共生するまちづくり

糸井地域は川や山林などの自然が豊かです。その豊かな自然環境を守るために、田畑・里山を適正に維持し、未来へ向け十分な環境保全活動に取り組んでいきます。それを活かすために住民のみならず、生き物にとっても住みやすい環境を作っていく必要があります。

また、「糸井の大カツラ」、「糸井溪谷」など、糸井が誇る資源・魅力を再確認し、人の暮らしと生き物との共生を図りながら、自然をいかしたまちづくりを進めていきます。

基本方針に基づく今後の取り組み内容

① 花と緑の景観・環境づくり活動

- ・ 花いっぱい事業を通じた環境づくり
- ・ 草刈り・ゴミ拾い等の環境整備

② 里山・山林をいかした活動

- ・ 床尾山での登山活動
- ・ 糸井溪谷の散策
- ・ 里山・山林管理保全活動

③ 糸井川をいかした活動

- ・ 糸井川での川遊び体験
- ・ 糸井川いかだ下り

④ 糸井川の保全活動

- ・ 水生生物調査
- ・ オオサンショウウオの生息調査



(2) 若い世代、子どもも主役のまちづくり

これからの糸井地域のまちづくりは、だれもが住んでよかったと思えるために、糸井に住むすべての人が主体者となり、若者や女性、子どもの意見も取り入れ、多くの立場の人の参画を得ながら、今までにない視点も加えて知恵を出し合い、みんなで協力して新しいまちづくりを進めます。

特に、持続可能な糸井のまちづくりに必要な、次代を担う若者や子育て世代、そして、子どもたちが、糸井の良さを知って糸井を大好きになれるよう様々な機会や仕組みをつくっていきます。

基本方針に基づく今後の取り組み内容

① 若者や女性が参画しやすい仕組みの整備

- ・ 若者や子育て世代中心で行うイベント・グループづくりの支援
- ・ 糸井自治協議会の活動に参加しやすい雰囲気づくりや情報発信・情報共有の工夫

② 若者のリーダー育成

- ・ 若者や子育て世代のリーダー育成
- ・ 中高生の参画

③ 地元が好きになる「ふるさと教育」の実施

- ・ 地域と学校の連携協働体制構築事業(糸井チャレンジ)の実施
- ・ 地域と学校との連携
- ・ 地域素材活用のふるさと教育

④ 子育て環境の整備

- ・ 子ども会への活動支援
- ・ 子どもたち遊び場・広場の整備



(3) 生活の安全性と利便性が確保されているまちづくり

糸井地域は、自然災害に強いと言われていますが、土砂災害指定地域もあり油断はできません。また、高齢者世帯も多く、台風や大雪など自然災害に備え、地域での支援体制の整備が必要です。そのためには、災害等に対する適切な情報発信や避難訓練などを進めていきます。

そして、公共交通機関が十分でない地域にとって住民の移動手段の中心は自動車ですが、高齢者への運転免許証の返納が推奨されている現状もあり、移動手段は家族や知人に頼るか、限られた交通機関しかなくなります。住民が安心安全に暮らせるために、買い物、通院、通学などの移動手段の確保に出来ることから取り組んでいきます。

基本方針に基づく今後の取り組み内容

① 災害への備えと支援体制の整備

- ・ 地域ぐるみの防災訓練
- ・ 適切な情報共有と発信

② 安心して利用できる移動手段の確保

- ・ バスの利便性の向上
- ・ 個別移動サービスの充実

③ 安心して生活ができる支援

- ・ 買い物・移動販売の支援
- ・ 防犯防災のための空き家対策



(4) 人が集い、助け合い、優しさあふれるまちづくり

今回のまちづくりに向けたアンケートでは、中学生以上の一般回答も小学生アンケートの結果も糸井地域の住民の優しさを糸井の良さとして挙げていました。

人と人が集い、顔見知りになって、楽しんでいけるような活動や高齢者の見守りや支援等、協力して助け合えるような活動を通じて、優しさがあふれ、みんなが幸せを実感できるまちづくりを進めます。

また、現在行われている各区の活動を拡大・充実する取り組みや、今までやろうとして出来なかった糸井全体での取り組みも考えていきます。

基本方針に基づく今後の取り組み内容

① 思いやる優しいまちづくり

- ・ 近所の助け合い
- ・ あいさつ運動・声かけ顔見知り運動

② 人が集まる行事やイベントの実施

- ・ 趣味やサークル活動の支援
- ・ カフェの開催
- ・ 気軽に集まれる場づくり

③ 糸井全体での行事の充実

- ・ スマホ・パソコン・タブレット教室
- ・ まちづくりワークショップの開催
- ・ 糸井全体のイベントの開催
- ・ 糸井地区文化祭の充実



(5) ふるさと糸井の伝統文化、地域資源をいかすまちづくり

糸井地域には、昔からの伝統文化・お祭りが継承されていますが、その文化を地域で協力して歴史的・文化的な財産として後世に受け継いでいく必要があります。

また、地域資源の再研究を行い、それらをいかした魅力あるまちづくりを進めていき、糸井の良さを再認識し、糸井のお宝を守りながら、みんなが楽しめることを目指します。

基本方針に基づく今後の取り組み内容

① 郷土史研究活動

- ・ 歴史探索ウォーキング
- ・ 郷土史の研究・探究
- ・ 糸井お宝ガイドの作成

② 伝統文化継承活動

- ・ 糸井の歴史・文化を知る場づくり
- ・ 盆踊り大会・盆踊り講習会

③ 特産品の開発活動

- ・ 糸井と言えば「これ」の探究活動
- ・ 農産物の研究・生産

④ 田畑・農地管理活動

- ・ 農地管理継続の支援
- ・ 休耕田の有効活用支援



(6) 高齢者が楽しく元気にふんばれるまちづくり

糸井地域は、住民の半数近くが高齢者となり、核家族化や生活様式の多様化で、家族や地域でお互いが支えあう力が弱くなっています。そんな中で、単身高齢者も増え、自らの力で日常生活を楽しく元気に充実した老後を送ることが求められています。今後、ますます高齢化が進むと予想され、高齢者が自ら生きる力を身に着け、ふんばって生きていけるよう生活支援を進めていきます。

基本方針に基づく今後の取り組み内容

① 声かけ・あいさつ運動の推進

- ・ 高齢者の見守り
- ・ お隣さんとの交流で助け合い運動

② 健康を意識した生活の推進

- ・ 健康体操・ラジオ体操の推進
- ・ 健康づくりのための栄養・料理教室
- ・ 便利な生活をするための電子機器の活用

③ 仲間と楽しくふれあえる場づくり

- ・ 糸井地域の高齢者の親睦をはかる「床尾のつどい」
- ・ 気軽に参加できるサロン・カフェ、サークル活動の開催

④ 高齢者福祉の充実

- ・ 高齢者の知恵・技術をいかせる機会や場
- ・ 行政への橋渡し



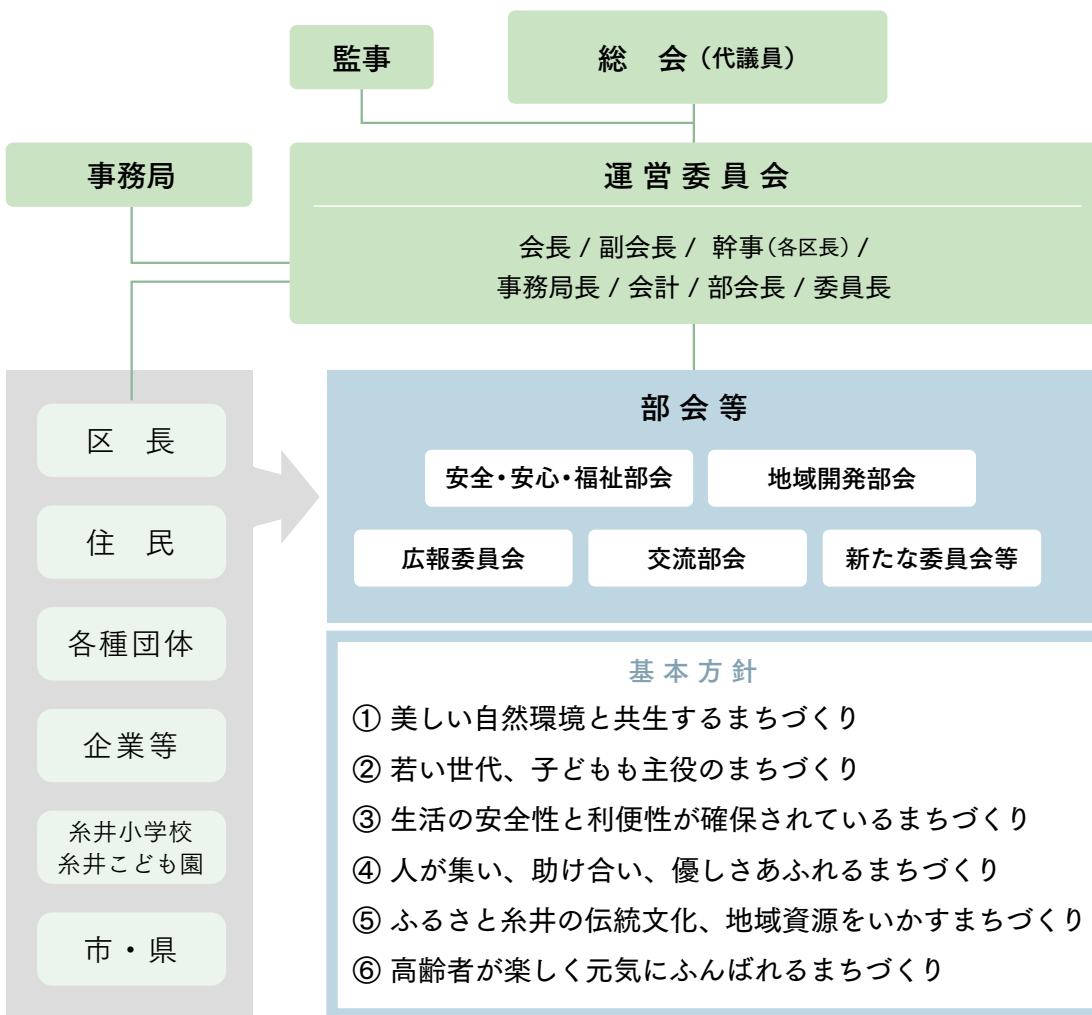
第3章 まちづくりの推進に向けて

1 糸井地域まちづくりの推進体制

糸井地域の「ありたい姿」を実現するためには、住民、企業、関係機関、各種団体等が一丸となり、地域の課題解決に向けて互いにまちづくりへの意識の共有を図りながら連携し、取り組みを進める必要があります。

そのために、暫定的に現在の組織体制をベースとしながらも、今後部会や委員会等組織体系について検討し、必要に応じ協議会規約の改正等も含めて柔軟に見直しを行いながら、新たな推進体制を作っていきます。

糸井地域自治協議会 推進組織図

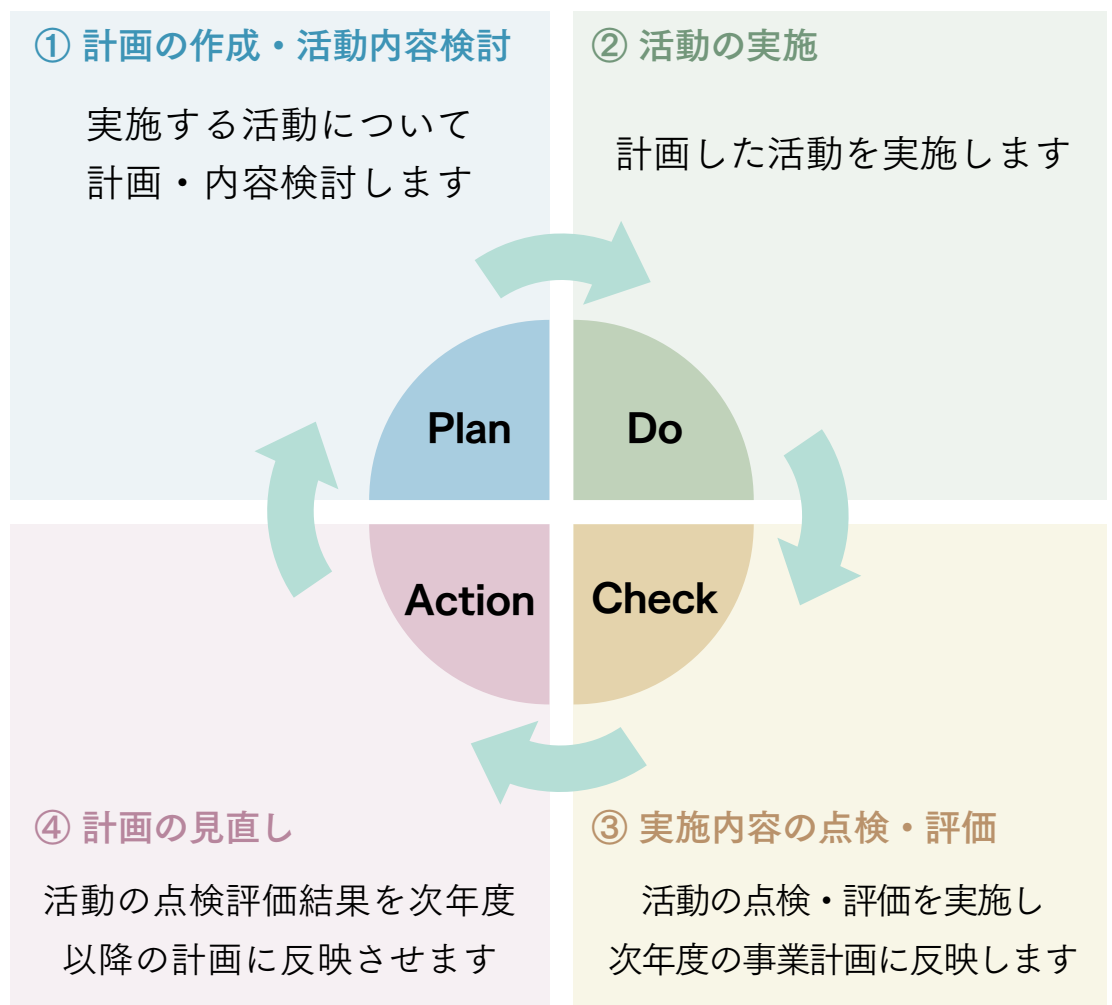


2 計画の見直しについて

糸井地域まちづくり計画は、「糸井地域が目指す将来像」、「基本方針」に向かって取り組みが進められているか確認するため、PDCAサイクル(※1)を利用した計画の進捗管理を行います。

毎年、取り組みについて話し合い、進捗状況を確認し、必要に応じて見直しを行います。おおむね5年を目処に全体を振り返り、後期に向けた「具体的な取り組み」の内容を検討します。

計画の進行管理図 (PDCAサイクル)



(※1) PDCAサイクルとは・・・Plan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)の頭文字を取ったもので、計画から改善までを1つのサイクルとして行い、管理業務の効率化を目指す考え方です。

第2次系井地域まちづくり計画策定の経過

第2次系井地域まちづくり計画の策定に至るまでの経過

開催日	会議名等	会議内容等
2020年7月3日	第1回まちづくり計画改訂打ち合わせ会	まちづくり計画改訂に向けた意見聴取
2020年7月27日	第2回まちづくり計画改訂打ち合わせ会	まちづくり計画改訂に向けた意見聴取
2020年8月26日	第3回自治協運営委員会	まちづくり計画見直しの必要性説明 まちづくり計画検討委員会の設置について
2020年9月10日	第1回まちづくり計画検討委員会	まちづくり計画改訂に向けた意見聴取
2020年10月8日	各部会合同会議	まちづくり計画改訂に向けた意見聴取
2020年10月22日	第2回まちづくり計画検討委員会	現計画の評価 アンケート内容検討
2020年11月12日	第3回まちづくり計画検討委員会	まちづくり計画の改訂に向けた意見交換 アンケートの内容検討
2020年11月26日	アンケート検討会	アンケート内容検討
2020年12月3日	第4回まちづくり計画検討委員会	まちづくり計画の改訂に向けた意見交換 アンケートの素案作成
2021年3月9日	第5回まちづくり計画検討委員会	まちづくり計画改訂に向けた今後のスケジュール
2021年7月6日	第6回まちづくり計画検討委員会	まちづくり計画アンケート集計結果報告 アンケートの分析の方向性 まちづくり計画改訂に向けた今後のスケジュール
2021年7月20日	第7回まちづくり計画検討委員会	アンケートの分析の方向性 アンケートの結果報告の内容
2021年8月27日	第8回まちづくり計画検討委員会	アンケートの結果報告の内容
2021年10月22日	第9回まちづくり計画検討委員会	現在のまちづくり計画の検証 アンケート実施報告会の運営について
2021年11月3日	まちづくり計画アンケート実施報告会	まちづくり計画アンケート集計結果報告 少人数グループに分かれての「グループディスカッション」
2021年11月30日	第10回まちづくり計画検討委員会	報告会の意見とりまとめ 計画の柱やテーマの検討
2021年12月14日	第1回まちづくり計画編集委員会	計画の柱やテーマ検討
2021年12月17日	第11回まちづくり計画検討委員会	地域全体で取り組んでいくテーマに応じた具体的取り組み案 計画に描く系井地域の姿：ビジョン・テーマ(柱立て)
2022年1月11日	第12回まちづくり計画検討委員会	計画の素案の検討 体制や部会等のあり方の検討 計画書の構成の決定
2022年1月20日	第2回まちづくり計画編集委員会	計画に描く系井地域の姿：ビジョン・テーマ検討確認
2022年1月21日	第13回まちづくり計画検討委員会	計画の素案の検討 体制や部会等のあり方の検討 計画書の構成の決定
2022年1月25日	第3回まちづくり計画編集委員会	計画に描く系井地域の姿：ビジョン・テーマ検討確認

糸井地域まちづくり計画検討委員会 委員名簿

糸井地域自治協議会

委員長	長野 久司	糸井地域自治協議会	会長
副委員長	山本 喜一	糸井地域自治協議会	副会長
委員	小川 和道	糸井地域自治協議会	幹事
委員	中島 茂久	糸井地域自治協議会	幹事
委員	大森 げん	糸井地域自治協議会	幹事
委員	大槻 裕人	交流部会	部会長
委員	藤原 雅晃	交流部会	部会員
委員	上田 敏子	地域住民	地域住民
委員	水田 えり子	地域住民	地域住民
委員	中村 直行	安全・安心・福祉部会	部会長
委員	日下 康代	安全・安心・福祉部会	部会員
委員	笹谷 和代	安全・安心・福祉部会	部会員
委員	寺川 雅久	安全・安心・福祉部会	部会員
委員	川見 貫二	地域開発部会	部会長
委員	和田 秀樹	広報委員会	委員長

事務局

事務局長	下村 裕之	糸井地域自治協議会	事務局長
事務職員	足立 恵美	糸井地域自治協議会	事務職員

地域担当職員

委員	桑島 悠地	産業振興部 農林振興課	主事
委員	伊地智 優里	健康福祉部 高年福祉課	主事
委員	福富 裕貴	まちづくり協働部 生涯学習課	主事

市民協働課

市担当職員	中嶋 大介	まちづくり協働部 市民協働課	課長補佐
市担当職員	安田 雅子	まちづくり協働部 市民協働課	係長
市担当職員	絹川 文雄	まちづくり協働部 市民協働課	職員

アドバイザー

アドバイザー	戸田 幸典	丹波ひとまち支援機構	代表理事
--------	-------	------------	------

絵：小野山 正敏

思いやりの心でつなぐ人の輪

～心も体もいきいきと、自然と共に誰もが輝ける糸井～

